



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古屋 茂 TEL 03-5332-6001  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	52,094	9.5	370	—	△67	—	△524	—
24年3月期第2四半期	47,577	△3.2	△421	—	△470	—	△547	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,468百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △1,532百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△24.33	—
24年3月期第2四半期	△25.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	101,375	33,886	33.4
24年3月期	105,208	35,414	33.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 33,813百万円 24年3月期 35,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,700	3.8	750	△45.1	△50	—	△450	—	△20.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	21,778,220株	24年3月期	21,778,220株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	213,846株	24年3月期	213,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	21,564,437株	24年3月期2Q	21,552,049株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等による緩やかな持ち直しがありつつも、世界景気の減速等の影響を受け、総じて緩やかな回復から足踏み状態になりました。海外においては、米国では緩やかな回復傾向にあるものの、中国やインドでは景気拡大のテンポが鈍化するなど、景気減速の動きが広がる状況となりました。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高52,094百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益370百万円（前年同四半期は営業損失421百万円）、経常損失67百万円（前年同四半期は経常損失470百万円）、四半期純損失524百万円（前年同四半期は四半期純損失547百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、エコカー補助金の効果による国内販売増や東日本大震災の復興需要等により生産が増加しました。当社においても、それらの影響を受けて受注が増加したことにより、売上高は30,777百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。収益面においては、東海工場の集約に伴う一時的な費用増等の影響によりセグメント利益は107百万円（前年同四半期比64.2%減）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響により減少した主要顧客からの受注が回復し、アメリカでの自動車販売も好調である事から受注が増加し、売上高は10,699百万円（前年同四半期比27.1%増）となりました。収益面においては、受注増の影響や、メキシコで発生していた生産対応の遅れによる費用を削減したこと等により、セグメント利益は496百万円（前年同四半期はセグメント損失425百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、平成23年夏より合肥における新拠点が開業開始した影響に加え、広州及びインドの拠点においても新規製品の量産が本格化したことにより受注が増加し、アジアでの売上高は8,089百万円（前年同四半期比27.9%増）となりました。収益面においては、インド及び合肥での先行投資による固定費の増加影響等により、セグメント損失は263百万円（前年同四半期はセグメント損失312百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、市況低迷によって価格が抑えられた状況ではあるものの、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で20.0%増となったことにより、売上高は1,834百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。収益面においては、受注の増加や、使用原材料を含む原価低減活動を図ったことにより、セグメント利益は45百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の設備投資が低調であることに加え、通信会社のデータセンター向け物件の需要も低い水準で推移したことにより、売上高は693百万円（前年同四半期比29.5%減）となりました。収益面においては、受注減少の影響等により、セグメント損失は32百万円（前年同四半期はセグメント利益19百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,832百万円減少して101,375百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少4,028百万円、有形固定資産の増加1,867百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,305百万円減少して67,488百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少1,319百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,527百万円減少して33,886百万円となりました。主な要因は、四半期純損失524百万円、その他有価証券評価差額金の減少678百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末33.6%から33.4%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成24年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,358	6,117
受取手形及び売掛金	24,541	20,513
商品及び製品	2,153	2,548
仕掛品	3,826	4,188
原材料及び貯蔵品	2,657	2,558
その他	3,949	3,890
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,486	39,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,433	10,854
機械装置及び運搬具（純額）	25,228	26,080
土地	5,716	5,701
建設仮勘定	8,747	8,796
その他（純額）	4,009	4,569
有形固定資産合計	54,135	56,003
無形固定資産		
投資その他の資産	901	901
投資有価証券	5,150	4,104
その他	535	552
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,685	4,655
固定資産合計	60,721	61,560
資産合計	105,208	101,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,653	14,493
電子記録債務	—	2,839
短期借入金	4,541	6,092
1年内返済予定の長期借入金	9,133	9,308
未払法人税等	273	479
賞与引当金	1,092	1,063
事業構造改善引当金	—	375
製品保証引当金	448	202
災害損失引当金	104	68
その他	7,919	7,274
流動負債合計	42,166	42,198
固定負債		
長期借入金	19,674	18,342
退職給付引当金	3,790	3,868
事業構造改善引当金	482	—
その他	3,680	3,079
固定負債合計	27,627	25,290
負債合計	69,794	67,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,117	5,117
資本剰余金	8,359	8,359
利益剰余金	26,240	25,651
自己株式	△320	△320
株主資本合計	39,397	38,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,846	1,168
為替換算調整勘定	△5,897	△6,162
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△4,994
新株予約権	67	73
純資産合計	35,414	33,886
負債純資産合計	105,208	101,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	47,577	52,094
売上原価	43,105	47,072
売上総利益	4,471	5,022
販売費及び一般管理費	4,892	4,651
営業利益又は営業損失(△)	△421	370
営業外収益		
受取利息	21	12
受取配当金	53	56
負ののれん償却額	54	—
為替差益	82	—
スクラップ売却益	35	36
その他	62	65
営業外収益合計	311	170
営業外費用		
支払利息	312	377
為替差損	—	169
その他	47	63
営業外費用合計	360	609
経常損失(△)	△470	△67
特別利益		
固定資産売却益	2	3
補助金収入	—	168
特別利益合計	2	171
特別損失		
固定資産除売却損	57	96
退職給付制度改定損	22	—
その他	10	—
特別損失合計	89	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△558	7
法人税、住民税及び事業税	451	645
法人税等調整額	△462	△112
法人税等合計	△10	532
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△547	△524
四半期純損失(△)	△547	△524

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△547	△524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△566	△678
繰延ヘッジ損益	16	—
為替換算調整勘定	△435	△265
その他の包括利益合計	△984	△943
四半期包括利益	△1,532	△1,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,532	△1,468
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△558	7
減価償却費	4,588	5,398
負ののれん償却額	△54	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△29
製品保証引当金の増減額(△は減少)	56	△244
退職給付引当金の増減額(△は減少)	135	77
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△99	△107
受取利息及び受取配当金	△75	△68
支払利息	312	377
有形固定資産除売却損益(△は益)	54	92
補助金収入	—	△168
退職給付制度改定損	22	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,266	4,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△377	△548
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,374	△1,345
未払金の増減額(△は減少)	△171	△171
未払消費税等の増減額(△は減少)	△693	293
その他	649	438
小計	156	8,100
利息及び配当金の受取額	75	69
利息の支払額	△313	△376
補助金の受取額	—	168
法人税等の支払額	△667	△537
法人税等の還付額	280	348
災害損失の支払額	—	△50
営業活動によるキャッシュ・フロー	△468	7,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△484	—
定期預金の払戻による収入	87	198
有形固定資産の取得による支出	△7,049	△8,985
有形固定資産の売却による収入	111	12
その他	△175	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,509	△8,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	10,820	10,350
短期借入金の返済による支出	△9,574	△8,856
長期借入れによる収入	6,670	4,963
長期借入金の返済による支出	△3,662	△6,172
配当金の支払額	△129	△65
その他	△13	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,110	206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△189	△117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,057	△1,010
現金及び現金同等物の期首残高	9,179	6,688
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,275	5,678

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,090	8,419	6,325	1,758	983	47,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,080	9	251	987	1	3,331
計	32,170	8,429	6,577	2,745	985	50,908
セグメント利益又は損失(△)	299	△425	△312	△23	19	△442

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△442
セグメント間取引消去	20
四半期連結損益計算書の営業損失	△421

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,777	10,699	8,089	1,834	693	52,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,656	2	341	1,257	—	3,257
計	32,433	10,701	8,431	3,092	693	55,352
セグメント利益又は損失(△)	107	496	△263	45	△32	353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	353
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	370

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。